



## 四国学院同窓会事業

### 「四国学院同窓会同窓生子弟・兄弟姉妹入学金支援制度」

同窓生および関係者の経済的支援を図り、  
同窓生本人・同窓生本人の父母・子・兄弟姉妹・孫が入学する場合、入学金を全額免除します。

#### 宮地孝輔さん 1999年度文学部人文学科卒業

私と妻が大学を卒業してから20年以上の月日が過ぎましたが、未だに我が家では学生時代の話は尽きません。親元を離れて初めての一人暮らし。知らない土地での生活。入学したばかりのころはすべてが新鮮で、不安も大きかったことを覚えています。そんな不安を消してくれたのが、大学の職員の方々、先輩方、そして出会ったばかりの友人達でした。あっという間の4年間、とても充実した日々を過ごすことができました。

長女が高校2年生の時、「私、この大学のオープンキャンパスに行きたい」と差し出されたのは四国学院大学のパンフレットでした。親子3人で参加させていただき、久しぶりに訪れた大学は私たち夫婦が在学していたころとは少し違った雰囲気になっていましたが、とても懐かしく、あの頃に戻った気さえました。何よりも、突然声をかけ挨拶したにも関わらず、当時お世話になった先生方や職員の皆様が私達を思い出してくれた事に感激しました。

オープンキャンパスでご説明いただいた中に、四国学院同窓会子弟・兄弟・姉妹入学支援制度のお話がありました。四国学院大学に通うには私同様に、娘も実家から離れて生活をしなければなりませんし、学費や生活費など金銭的な負担は少なからずあります。ですが親として

新たな土地で、環境で、もっと成長してほしいという思いももちろんあります。入学金支援制度は、そんな私たちの背中を押してくれる四国学院大学らしい制度だと思います。金銭面の負担は軽くなりましたし、何より私達が四国学院に通って学んだ日々を社会に活かすだけではなく、次の代、自分の子供にも活かせることで、今までより更に四国学院大学の卒業生で良かったと心から思います。

大学は、私たちに多くのものを与えてくれました。今までも、これからも、その経験は私達の宝物です。そして最大の宝物である娘が入学支援制度で四国学院に通っていることに大変感謝しています。娘は大学で色々なことを学び、成長し、社会へと飛び出していくことでしょう。このような機会をくださり、誠にありがとうございます。私達夫婦の思い出の詰まった四国学院大学に入学し自身の夢をかなえるために日々学び、豊かな学生生活を送っている娘のことを私たちは誇りに思いますし、応援しています。

これから同窓生の皆さんのお子さん、兄弟・姉妹の方が四国学院へ入学を考えているのであれば、このような素晴らしい入学支援制度があることを知っておいて欲しいです。

### 「四国学院同窓会同窓生の卒業後教育支援制度」

幼稚園・小学校等教諭免許状や社会福祉関係の資格取得を目標にしていたけれども、卒業までに必要な単位を修得することができなかったため改めて目指したい、また教養を身に付けたい同窓生の学習意欲を応援しています。

- ① 学部科目等履修生の登録料 (20,000円免除)
- ② 学部科目等履修料 (1単位20,000円減額)
- ③ 学部科目の聴講料 (1単位5,000円減額)

### 卒業証明書等発行手続き

卒業証明書等発行手続は、同窓会が窓口となっています。証明書によっては日数を要しますのでお早目に申請をお願いいたします。

#### CONTENTS

P1 四国学院同窓会事業  
P3 2022年度支部総会

P5 同窓生からのおたより  
P7 四国学院大学トピックス



四国学院同窓会  
LINE登録実施中



#### 住所変更届のお願い

四国学院大学の催し、各種同窓会等の案内をいたします。“転居先不明”で本会に郵便物が返送されてくる悲しいことになりませんように、ご自身で変更届をしてください。

## 学生の課外活動団体(個人)への支援

地区予選を勝ち抜き、全国大会に出場した学生の頑張りを応援しています。

山本同窓会会長から選手に支援金をお渡ししました。お住まいの近くで試合がありましたら、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

**■第37回U20 日本陸上競技選手権大会**  
(2021年6月24日～27日)  
陸上競技部:女子ハンマー投(吉川愛莉さん)  
結果:6位(52m21)

**■天皇賜盃第90回 日本学生陸上競技対校選手権大会**  
(2021年9月17日～19日)  
陸上競技部10名  
(短距離、リレー、ハンマー投げ)

学生さんからお礼の言葉  
『私たち陸上競技部は少しでも自己新記録の更新や学生対校選手権大会で総合順位を上げるため日々練習などに励んでいます。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。』



## ロゴス館の運営

新型コロナウイルス感染予防の為、同窓生の使用を制限していましたが、2021年12月より使用できるようになりました。

今後の感染状況によっては、予約を受けられない期間や予約をいただいておりますも使用を見合わせていただくことがありますので同窓会ホームページをご確認ください。

<b>ロゴス館 全景</b>	<b>2階 洋室</b> (6人、10人各1室) 1人1,500円/1泊 共用のシャワー棟	<b>3階 個室 (4室)</b> 1室 4,000円/1泊 お風呂・トイレ付 (タオル・浴衣有)
<b>ホール (約40席)</b>	<b>2階 和室</b> (8人程度 2室) 1人1,500円/1泊 共用のシャワー棟	<b>3階 和室 (4人2室)</b> 1室 9,000円/1泊 お風呂・トイレ付 (タオル・浴衣有)

**【お問い合わせ・申込】 四国学院同窓会事務局**  
※ホームページから申込ができます。

## ホームカミングの支援

学科等同窓会開催の為、名簿・宛名ラベル作成の希望がある場合、所定の手続・審査の後、提供しています。また、同窓生に大学を再び訪れてもらえるよう大学祭期間中にロゴス館を無料開放しています。同窓会ホームページにてご確認ください。

## 同窓会会報「ロゴスだより」(第23号)の発刊

2021年7月に17,927名の同窓生へ会報を発送しました。原稿をお寄せいただきました皆様ありがとうございました。

## 四国学院同窓会 会費納入のお願い

同窓生の皆様におかれましては、同窓会活動にご支援を賜りまして、深く感謝申し上げます。同窓会運営は、会費により成り立っております。皆様からお預かりした会費をいかに有効につかわせていただくかを考え活動しておりますが、年々増える同窓生数により、将来的に同窓会財政が厳しい状況になってきております。

過去を調べてみますと、1981年度以前の卒業生は年会費500円、1982から1990年度は年会費1,000円で10年分の徴収がされていきました。ついては、会費有効期間が満了しておられる1990年度以前の卒業生に、会費納入のお願いをさせていただくことといたしました。同窓生一人一人のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### ■ 対象者と納付額・方法

①1990年度以前の卒業生	<b>25,000円</b> (終身会費のみ) 未納者の方には「払込取扱票」を同封しています。通信欄に、卒業年度・学科・旧姓もお書き添えくださるようお願いいたします。
②1991年度以降の卒業生	<b>30,000円</b> (入金金5,000円、終身会費25,000円) 未納の方は、お問い合わせください。

※同窓会会費をすでに納めているか疑問の方はお問い合わせください。  
※会費納入が重複した場合を除いて、一旦納入した会費は原則として返還はできません。寄附金とさせていただきます。  
※同窓会会費未納の方は、各種同窓生支援制度等の対象となりません。

## 大学の企画・プロジェクトへの協力・提携

四国学院同窓会と四国学院大学が連携し、相互に支援活動が行える事業を協議しています。

## 同窓会・学生間意見交換・交流会

同窓会役員等関係者と学生の交流の場を設け、学生に同窓会活動についてお知らせすることで、同窓会組織の存在と卒業後の同窓会活動に支援を求めています。

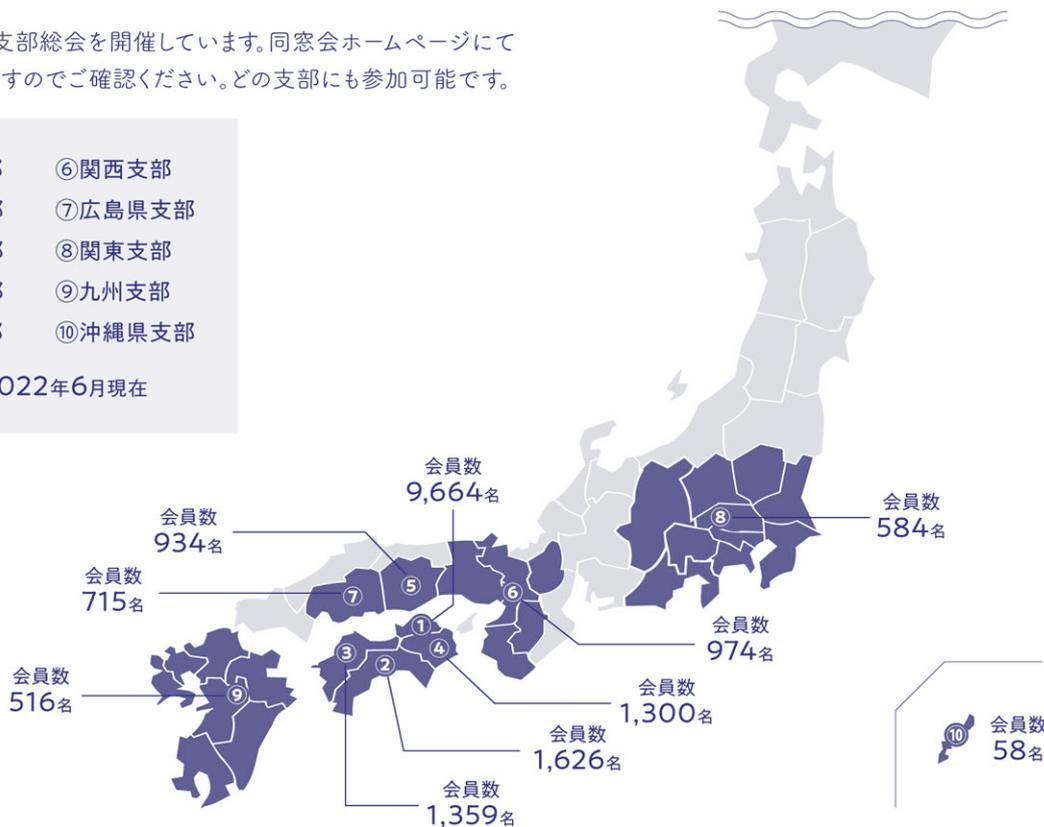
## 本部役員会・支部総会・役員総会の開催

# 2022年度支部総会

2年に1度、各支部総会を開催しています。同窓会ホームページにてご案内をいたしますのでご確認ください。どの支部にも参加可能です。

- ①香川県支部      ⑥関西支部
- ②高知県支部      ⑦広島県支部
- ③愛媛県支部      ⑧関東支部
- ④徳島県支部      ⑨九州支部
- ⑤岡山県支部      ⑩沖縄県支部

会員数2022年6月現在



## 香川県支部

新型コロナウイルス感染防止の観点から、香川県支部総会も他支部同様に中止しておりましたが、今年度は、支部役員限定による開催を年内に実施したいと考えております。開催については、同窓会ホームページおよびメールでお知らせします。皆さんとお会い出来る日を、心よりお待ちしております。

香川県支部 支部長飛田由香

## 愛媛県支部

前回(2020年度)支部総会の中止から2年。コロナへの対応は少しずつ変化してきているようですが、会員の皆さんの多くは、仕事上こういった会合への参加ができない状況のようです。とても残念ですが、今回も開催は難しいと判断しました。ただ、今後の活動について検討するため、支部役員限定の会を11月から2月を目処に実施したいと考えています。

愛媛県内だけでなく、県外の会員並びに他県の皆さんとも、心置きなくお会いし、楽しい一時を過ごせる日が、1日も早く来ることを心から願っています。

愛媛県支部 支部長河井正寿

## 関東支部

まだまだ油断は出来ませんが、支部総会開催を決定致しました。関東支部には、学院創立当初の同窓生の先輩方が多数いらっしゃいますので、「学院70周年の歩み」の上映会を企画致しました。懐かしさと共に、笑顔になって頂きたく皆様のご参加をお待ちしております。尚、開催は今後の感染状況にもよりますので、四国学院同窓会ホームページにてご確認ください。

関東支部 支部長近藤浩基

### ■2022年11月19日(土)

受付12:30// 支部総会13:00~14:00//  
懇親会14:00~16:00(「四国学院70周年の歩み」上映会)

■会 場：「アルカディア市ヶ谷」(私学会館)  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-2  
TEL 03-3261-9921

■会 費：7,000円

■返信締切：8月15日

■お問合せ：近藤連絡先

出席申込 ライン h.k1970  
メール astalavista.baby1970@gmail.com

◆出席申込は、四国学院同窓会でも承ります。



## 同窓会封筒 広告募集

四国学院同窓会使用の角2封筒に広告を載せてみませんか?  
同窓会員が関係する会社・団体なら申請できます。

2023年度使用 角2封筒(印刷部数/約20,000枚) 広告サイズ 縦6cm×横8cm 掲載料/50,000円

# ムアンギ先生、32年間ありがとうございました

## 四国学院大学の今までとこれから

ゴードン・サイラス・ムアンギ 四国学院大学 名誉教授



私は1974年の4月5日に日本の羽田に降り立ちました。ケニアのナイロビ大学卒業後同文部省の公務員として3月まで務めた後、日本の文部省の奨学金を得て、京都大学の大学院に入学しました。京都大学大学院在学中に日本の反アパルトヘイト運動と関わりを持ち、そのことが私の日本でのキャリアに一番大きな影響を与えたとと言えます。反アパルトヘイトのベースとして学んだことは「人種によって人権が侵害されてはならない」という事でした。それから私の「平和学」の基礎は「人権を大事にするという事」へと定まっていきました。そして、日本平和学会への参加を通して、四国学院大学で平和学を教えられていた岡本三夫先生と出会ったのです。南部アフリカの核問題について発表した頃でした。彼に声を掛けられ、四国学院大学に助教として1990年の4月に赴任してきました。

さらに、イエスの教え「自分が他人にしてほしい事だけ、他人にしなさい」ということを私は人権を考えるときの基本にしています。私のケニアの実家は長老派教会に属しています。四国学院大学はキリスト教の大学なので、子供のころから聞いていたこの教えを実際に自分が教えることができる機会を与えてもらったことを大変嬉しく思いました。そして、これを基本の考えとして32年間、平和学を教えてきました。四国学院大学で平和学を担当することで、たくさんの人との繋がりを持つこともできました。ことしの(2022年)3月に退職しましたが、この繋がりには私が死ぬまで続くもの

であると考えております。  
 加えて私は、人権の中でも女性の人権について皆様にお伝えしたいと思います。日本は現在先進国の中でも男女平等の点で非常に遅れているという評価がされています。特に就職の問題です。政治の場や大企業の中で女性の地位が低い、という事は大きな社会問題です。「女性の教育への参加」に対して政府だけではなく、大学でも意識を高めなければならない。「平等」と口で言うだけでなく、行動で示さなければなりません。またジェンダーをも超えて人間として一人一人をとらえないといけません。これは日本の未来にとって非常に重要なことです。

次にお伝えしたいのは日本におけるマイノリティ(被差別少数者)の問題です。私が四国学院大学にきてすぐに、大学は「被差別少数者入試の制度」を取り入れました。私は「日本におけるマイノリティに対する特別推薦委員会」に委員長として任命されました。入学特別推薦には被差別部落枠、在日韓国人、うちなんちゅ、アイヌ民族枠、身体障害者枠、キリスト者枠等が作られました。

彼らが入学する、ということだけではありません。学生全員が学生生活の中でそのことについて学び、自ら行動できるようにならなければなりません。私は特に被差別部落、在日韓国人、うちなんちゅ、アイヌ民族の日本での差別の問題を授業として深く取り上げてきました。退職後もこれは続けていくつもりです。(ムアンギ塾を立ち上げました。)

最後に、四国学院大学は、キリスト教とはどういうものなのか、ということをはっきりさせないといけません。ロシア正教会のキリル総主教がプーチンを崇拜し、操り人形になっていることが非常に問題です。イエス・キリストの教えについて考えると戦争は誰であろうと、してはいけません。5月初めにローマ法王がそのことを指摘、注意喚起しました。又ロシア内部でも「平和を支持するロシアの司祭」というグループに属する300人近い正教徒が、ウクライナで行われている「非常に残忍な命令」を糾弾する書簡に署名しました(ロイター通信)。ロシアのウクライナ侵攻

翌日、エデリシュテイン司祭は友人のイオアン・ブルディン司祭が記した書簡に署名しました。「ウクライナ住民の血は、ロシアの支配者や、作戦命令を実行する兵士の手をぬらすだけではない。戦争を承認あるいは沈黙を守っている私たち一人一人の手をぬらしている。」ウェブサイトにもUPされたこの記事は二日後に削除され、非難を受けました。しかし、ブルディン司祭は批判をやめませんでした。その後、罰金刑になったにも関わらず、「私にとって『汝、殺すなかれ』という聖書の戒めは無条件のものだ」とAFP通信に話しています。二人とも自分たちを、反体制派だとは考えておらず、「話す際に自己検閲し、罪は罪であること、流血は容認できないこと等について沈黙するならば、例え教会に所属していたとしても、知らず知らずのうちに徐々に司祭であることを辞めることになるであろう」と語りました。

これはキリスト教の危機です。私たちクリスチャンは今、試されています。私たちはどのように行動を起こしますか？

お伝えしたいことを三つ書きました。これらは人権問題に関わる私にとって生涯をかけて自分に問いかけることであるとともに、人々に伝えなければならないことです。羽田に降り立ってから48年、四国学院大学の教壇に立ってから32年の間に会ったすべての方々に感謝しております。このようなことを書ける機会をありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



2022年2月16日退職記念チャペルアワー「平和と愛」(清泉礼拝堂にて)

# 同窓生からのおたより

## 不得意を得意に

CORDERO DAVILA PEDROさん 2004年度文学部人文学科卒業



在学時代で最も記憶に残ったのは何だろうと記憶を辿ったときに、強く印象に残っているのは、教鞭をとっている先生方のレベルの高さを何年も経ってから気付いたことです。当時の私は好きな哲学だけを勉強したいという強い意志を持っていたため、「なぜ社会学原論や社会心理学等を勉強しないといけなんだ」とブツブツ言いながらとにかく低空飛行で受かることのみを考えていました。何と高慢で目の短い考えだったんだろうと反省をしています。その時に勉強しなかったもの、覚えなかったものがのちに必要になるという認識が全くなかったのでしょうか。また先生方の「レベル」なんてものを考えることもしませんでした。「先生だから知っている当然」であり、そこに辿り着くまでの過程や、博士になるのに必要な知識を得るのにどれだけ多くの本を読み、執筆をして学んできたのか等の根本的なことを考えるようになったのはたまに実施する講演やセミナー、スペインのマドリード州立大学のマスタークラスで経営学や日本ビジネスの講師をするようになってからです。

現在私は日本貿易振興機構(JETRO)に勤め、日本の貿易促進事業、対日投資誘致事業や日本企業の欧州(主にスペイン)進出の支援事業に携わっています。再エネから自動車工業、IT、食品分野と様々なセクターに属す企業と仕事することになり、様々なことを覚えていく必要があります。仕事において「これは好きだからちゃんと

やる、あれは嫌いだからやらない」ということを思いながら仕事はできません。もちろん得意不得意はあります。しかし、年を重ねるごとに不得意な事業をいやいやであつてもいいから一所懸命にやると少しずつ得意になり徐々に好きになっていくことを強く感じています。結局、不得意というのは未体験のものだったり、一回試してみたけど上手く行かなかったことが多いだけなんだと思います。得意なことが好きであることは自然なことであるように不得意なことが嫌いだというのも自然な感情だと思います。不得意なことを好きになれと押し付けられても無理な話ですが、不得意なことを得意に変えることはできます。得意になれば好きになる可能性はグンと上がります。そうすればさらに得意になり、と相乗効果が生まれます。このサイクルをできるだけ多くの不得意分野に実践してみると世界を見る目が変わります。得意だった分野が更に得意になるという利点もあります。

JETROでもどの企業でも同じ仕事を一生することはありません。JETROにおいては政府の方針に沿って仕事をするため、数年ごとに少しずつ事業の軸足を移しながら仕事をこなしていきます。民間企業においては、公的機関よりも早い速度で新しい技術の導入による経営方針や使う原料の種類からターゲット層、仕事の在り方そのものが変わっていています。ポイントはその時に必要な新技術の取り込み、これまで得たノウハウを生かし、不安を感じながらも未来に向かっていく姿勢だと思います。

2022年2月末から4日間、Mobile World Congressというバルセロナにて世界最大の通信展示会の枠組みの中で開催される4 Years From Now(4年後の社会と自社の成長にこれから取り組む)というスタートアップイベントにジャパンブースを構えて13社の日系スタートアップ企業の欧州展開の支援事業を実施する機会がありました。一生懸命に自分の製品やサービスを海外の人たちに見せて納得してもらうのは容易なことではないのですが、見事に海外の企業が日本のスタートアップに目を向けてくれました。

この背景には各社のチームとサポートをしてくれた多くの方々のお蔭であるものの、特に大きな収穫を得たのは欧州のニーズを理解して製品/サービスやそのセールストークを欧州により合わせた人たちでした。「不得意」な市場を「得意」な市場に変えていく企業の努力を拝見できました。

ゆえあつて数年前にEMBA(Executive Master of Business Administration/経営学修士号)を勉強する機会がありました。経営学のスペシャリストになるには、経営戦略やマーケティングなどを勉強しないといけません。私が不得意としていたのは、文系出身の私ですから、もちろん会計と複雑な数式を用いて各セクターに合わせた最も良い製造過程を勉強する経営管理です。もちろん最初のコースで見事落第しました。大学時代の低空飛行を繰り返す誘惑はありましたが、同じ過ちをおかすことはしたくない気持ちの方が強く、二度目は見事満点でした。これは将来、同じ場面に向き合うだろう時に大きな励みになると思っています。頑張ったから満点が取れたことは正直どっちでも良いが、頑張ったから得意になり、お蔭で好きになったのが一番の収穫です。

もしこれを読まれる学生がいれば、折角周りに優れた先生がいるのだから、より多くの知識を身に付け、少しずつ世界を見る目を変えて、機会があれば違う人種、言語、文化を学んで欲しいこと、不得意を得意に変えてより多くのことを好きになって欲しいことを心から願っています。



## 善通寺と共に

安藤悟志さん 2000年度社会学部応用社会学科卒業



新入生と新入生実行委員(右リター)の先輩方

新型コロナウイルスによる影響で、まだまだ大変な状況ではありますが、同窓生の皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。未曾有の災禍の中、ご苦勞はいかほどかと拝察致します。

私は1997年に四国学院大学に入学しました。愛媛県のド田舎で小学生のころから野球だけをして18年間過ごしてきたので、初めて善通寺駅に降りた時は「すごい都会に来た!」と胸がドキドキしたことを今でも鮮明に覚えています。大学生になったこと、新しい土地で生活するというところに、心躍らせていたのかもしれない。入学当初は、見るもの聞くものすべてが新鮮で、時に圧倒されながらも友人や先輩と楽しい時間を過ごす大学生活でした。私の唯一の武器である野球を通して仲間もでき、草野球チームを作ることもできました。授業もそこそこに、野球や遊びに現を抜かしていたころ、ある先輩から「一緒にバイトしてみ? 賄いもついとるよ」と誘われたことが人生のターニングポイントになりました。この『賄いもついとるよ』という甘い言葉につられて、軽い気持ちでバイトを始め、その飲食店は善通寺市内の有名店で、市内外

からたくさんのお客様が来店される人気店でもありました。(誤解のないように言っておきますが、人気は今も健在です!) 親方はとても厳しい方で、田舎者の右も左もわからない私に「料理や接客の事を教えてくださいました。そして「世の中にはこんなおいしい食べ物があるのか!」と感動することも多々ありました。私が大学4年生になるころ世の中は就職氷河期真っ只中。就職活動が難航している友人が何人もいるような状況で、例に漏れずなかなか就職先が見つからない時でした。親方から「料理の道に来ないか」と声をかけていただきました。バイトを始めて約4年が経ち、接客だけでなく料理の仕事も任される機会も増え、楽しさと同時に自信もあって、ここでも軽い気持ちで就職することに決めました。しかしその自信もすぐに打ち砕かれました。修行の毎日は早朝から深夜まですべきことが多く、また失敗の連続で、バイトで身に着けたスキルは何の役にも立たないと、まざまざと見せつけられる日々でした。仕事への責任も相俟って肉体的にも精神的にも疲れ、食事ものどを通らなかつたことを今でも思い出します。

就職して2年が経ったころ、親方から支店をオープンすること、その支店の店長を任せていただけのことを伝えられました。「なぜ私に?」という思いのなか、新しいチャレンジが始まりました。本店が名店と呼ばれる店であるため、その支店となれば周囲の期待も大きくなるのは必然。しかし

何もかもが未熟であった私はその大きな期待に応えることができず、あれよあれよという間に客足は減っていききました。予約ノートは毎日ほぼ真っ白でしたが、これまで親方から学んできたこと、見てきたものを着実に実行しながら、どのようにすればお客様に喜んで帰っていただけるかを毎日のように考えました。この時の苦勞があったから、その10年後に自分の店を持つ決心ができたのだと思います。

四国学院大学を卒業してから21年が過ぎました。特に夢や目標があったわけではなかった私が卒業してから今まで善通寺で包丁を握り続けているのは、4年間の大学生活で出会った方々がいたからだと思っています。あのころ一緒に野球に興じ、バイトに明け暮れ、ただ流れに身を任せる何でもない毎日を過ごした仲間、厳しく指導してくれた親方。四国学院大学に入学しなかったら、出会うこともなかったでしょう。市内の景色はもちろん、四国学院大学も私の体型も大きく変化しました。これからは時代と共に変化していくと思いますが、どんなときも四国学院大学の卒業生として恥ずかしくないように、四国学院大学のため、ひいては善通寺市のために驕ることなく日々精進していこうと思います。

最後になりましたが、新型コロナウイルスにとどまらず、これから暑さへの配慮も欠かせませんが、同窓生の皆様のご多幸と同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

## 学寮の基礎を作る

1ページに登場された宮地孝輔さんの長女さんに寮生活等について伺いました。

宮地友希乃さん 3回生 身体表現と舞台芸術マネジメントメジャー



私は1回生の頃、小豆島の祖父母の家から船と電車で通っていました。片道2時間、6時36分の始発で向かい、帰りは船の時間に合わせて電車に乗って、とにかく時刻表とにらめっこの日々でした。マグノリア学寮の入寮者募集のお知らせが来た時、なんとなく「新しい寮の入寮者募集してるよ」と母に伝えてみたところ、「時間に追われて友達といられる時間が短くなるよりは寮に入った方がいいんじゃない」と返事がきました。2回生で身体表現と舞台芸術マネジメントメジャー(演劇コース)を専攻することを決めていたし、演劇の稽古や授業

などを船の時間があるため最後までいられないもしくは、船に間に合わないという問題がなくなると考えるとマグノリア学寮の寮生になることはとても魅力的でした。寮での生活はとても快適です。朝晩の寮食はとても美味しく毎月新しい献立が増えていて食事が楽しみの一つになっています。1階にはスタディラウンジやキッチンプレイス等で他の学寮生とのコミュニケーションをとることができています。居室では自分の時間を過ごすことができ、同じ階の寮生同士で仲良く過ごせています。

寮が完成し最初の学寮生として入寮した昨年は、寮での生活や寮内のイベント、大学祭での出し物などに前例がないため運営係になった学寮生たちで1からマグノリア学寮での基礎を築いていけるように話し合いを重ね、協力し、寮全体、各階でのルールや様々な寮内イベントを行いました。昨年の大学祭では私は学寮からの出し物『マグノリアKitchen』の運営委員長として

携わっていました。初回のミーティングでは、展示にするのか、模擬店にするのか、何を展示するのか、何を売るのか、マグノリア学寮からの初めての参加だったので、これから10年先も伝統になるようなもの且つ、マグノリア学寮らしい出し物をするということになりました。そして大学祭ではマグノリアKitchenとして「クッキー」と「プリト」を販売し、多くの方にお越し頂きました。学寮生と学寮アドバイザーの先生方と話し合い、様々なイベントの運営や参加をすることで昨年の一年間で学寮の基礎は築けたのではないかと思います。

開寮して2年目になった現在、今年入学した新入生も加わり人数も増え、去年よりも更に賑やかになりました。今年の寮内イベントや大学祭では昨年経験したことを活かし、そしてより良いイベント、より良い寮での生活が送れるように学寮生、学寮アドバイザーの先生方と協力し、助け合えたら良いなと思います。

# 四国学院大学トピックス

## サッカー部

### 初のJリーガー誕生

吉田源太郎選手(4年・社会学部//四国学院大学香川西高等学校出身)が、J3カマタマーレ讃岐へ特別指定選手として認定され、2023年から新加入することが内定しました。現在、キャプテンとしてチームを引張り、個人としても第76回国民体育大会香川県代表や、第36回デンソーカップチャレンジサッカー中国四国選抜メンバーに選ばれるなど幅広く活躍しています。



## 硬式野球部

### 読売ジャイアンツドラフト指名

富田龍選手(2021年度・社会学部卒業/志度高等学校出身)が2021年10月プロ野球ドラフト会議にて読売ジャイアンツに育成8位で指名されました。

指名会見では「素直に嬉しかった。1日でも早く1軍で活躍したい」と意気込みを語りました。2001年のドラフト指名で広島東洋カープに入団した天野浩一選手、本学卒業後ドラフト指名された高野圭佑選手、昨年、埼玉西武ライオンズに入団して活躍している水上由伸選手に続き、4人目のドラフト指名となります。



## 陸上競技部

### 男子十種競技で初優勝

#### 第38回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技

2022年6月4～5日に、『第38回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技』が秋田県営陸上競技場にて開催され、陸上競技部の横内秀太選手(1年・社会学部//四国学院大学香川西高等学校出身)が、男子十種競技で、総合得点6690点を記録し初優勝しました。

※十種競技とは、100m、走幅跳、砲丸投、走高跳、400m、110mハードル、円盤投、棒高跳、やり投げ、1500m



## 2022年度 第61回 四国学院大学祭

開催日 10月15日(土)



問合せ先

四国学院大学祭実行委員会  
4gaku.fes2022@gmail.com



## 図書館の利用について

同窓生もご利用いただけます。

同窓生の著書も置くことができます。(寄贈 内容確認必要)

<https://www.sg-u.ac.jp/outline/library/>

## ノトスタジオ公演情報

### 四国学院大学アーティスト・イン・レジデンス・プログラム



今年度も、プロの演出家・振付家を2名招致。大学内の施設に滞在し、学生とともにレベルの高い舞台作品の創作に挑みます。

#### SARPvol.21

2022年9月29日(木)～10月2日(日)

振付・演出：白神ももこ

(「モモンガ・コンプレックス」主宰・振付家・演出家・ダンサー)

#### SARPvol.22

2023年2月22日(水)～26日(日)

演出：大池容子(「うさぎストライプ」主宰・劇作家・演出家)

### 四国学院大学 身体表現と舞台芸術メジャー10期生卒業公演

2022年12月7日(水)～11日(日)

身体表現と舞台芸術メジャーの学生が、作品の企画から上演までをすべて自分たちで行う公演です。

#### お問い合わせ

四国学院大学パフォーマンス・アーツ研究所(SIPA) TEL:0877-62-2324 E-mail:sipa@sg-u.ac.jp  
最新情報は、ノトスタジオHP(www.notos-studio.com)でご確認ください。

### ノトスキッズ公演

2023年1月21日(土)・22日(日)

子どもたちが気軽にアートに触れ、言葉とからだを通じた表現や創造の楽しさを味わってもらうことを目的としたプログラムで、新作をお届けします。

### 劇団口口公演『グッド・モーニング』

ノトスタジオで初上演

2022年12月17日(土)・18日(日)

脚本・演出：三浦直之

「いつだって可笑しいほど誰もが誰か愛し愛されて第三高等学校」が舞台の「いつ高」シリーズvol.6をお届けします。

### 本学教員が主宰する劇団の公演

#### ■サラダボール公演『葵上』『班女』『弱法師』

一近代能楽集より

2022年11月2日(水)～6日(日)

作：三島由紀夫 演出：西村和宏

#### ■劇団オムツかぶれ公演

2023年3月17日(金)～19日(日)

演出：仙石桂子

ノト  
スタジオHP



Cafeteria KOINOS

## カフェテリアKOINOS(コイノス)

KOINOS(コイノス)の名称はギリシャ語の「共生」に由来しており、学生や教職員だけではなく、地域の皆様の憩いの場となることを願って、2021年3月にリニューアルしました。

従来はランチ営業のみでしたが、朝食・夕食、さらにカフェメニューも充実させました。同窓生もご利用いただけます。

Morning(7:45～9:45)

●日替わり定食500円

Lunch(11:00～14:00)

●鶏からランチ390円 ●日替わりランチ450円

●カフェランチ490円 ●うどん/そば220円

●カレー330円 等

Café(9:00～18:00)

●コーヒー/紅茶100円 ●カフェラテ180円

●ソフトクリーム140円

(11:00～18:00)

●スムージー220円 ●ワッフル150円

●パフェ250円

●フライドポテト100円 等

Dinner(18:30～20:00)

●日替わり定食600円



カフェテリアコイノス  
週間メニュー

食事は、善通寺市主催ダイシモチレンピコンテスト2年連続優秀賞を受賞した創業60年の(株)メフォスさんが提供しています。全メニュー管理栄養士が監修し、定番メニューだけでなく全国のご当地メニューや世界の料理も毎月考案しています。

